132WA0783- 0 1 2 3 dsp 2022

CORONA

コロナウインドエアコン　標準取付枠

# 据付説明書　冷媒 R32

フロンの見える化

ウインドエアコンには GWP（地球温暖化係数）が 675 のフロン類（R32）が封入されています。地球温暖化防止のため、修理・廃棄等にあたってはフロン類の回収が必要です。

ウインドエアコンの取り付け方をWebにて動画配信しております。
右記QRコードからアクセスできます。

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

## 安全上のご注意（必ずお守りください）

■据え付け前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しく据え付けてください。
■ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

○表示の説明

| | |
|---|---|
| ⚠警告 | 取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負うおそれがある」内容です。 |
| ⚠注意 | 取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う、または物的損害を生じるおそれがある」内容です。 |

○図記号の説明

| | |
|---|---|
| ⃠ | してはいけない「禁止」内容です。 |
| ❗ | 必ず実行していただく「強制」内容です。 |

### ⚠警告

**据え付けは、強度が十分な場所を選定し、据付説明書に従って確実におこなう**
強度が不足したり据え付けが不完全な場合は、水もれ、感電、火災、エアコン落下によるけがの原因になります。また、騒音や振動が他へ伝わり増大する原因になります。

**電気工事が必要な場合は、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する**
配線などに不備があると漏電や火災の原因になります。

**取付枠の窓枠への固定、取付枠へのエアコンの固定は確実におこなう**
エアコンの固定が不確実な場合は、エアコン落下によるけがの原因になります。

**アース（接地）を確実におこなう**
アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。アース（接地）が不確実な場合は、故障や漏電のときに感電の原因になります。

**据付工事部品は必ず付属品および指定の部品を使用する**
当社指定部品を使用しないと、水もれ、感電、火災、エアコン落下によるけがの原因になります。

**漏電しゃ断器を取り付ける**
漏電しゃ断器が取り付けられていないと感電、火災の原因になります。お買いあげの販売店または専門業者に依頼してください。

**据え付けは、必ず付属の「標準取付枠」を使って正しくおこなう**
取付枠や据付方法に不備があるとエアコン落下によるけがの原因になります。

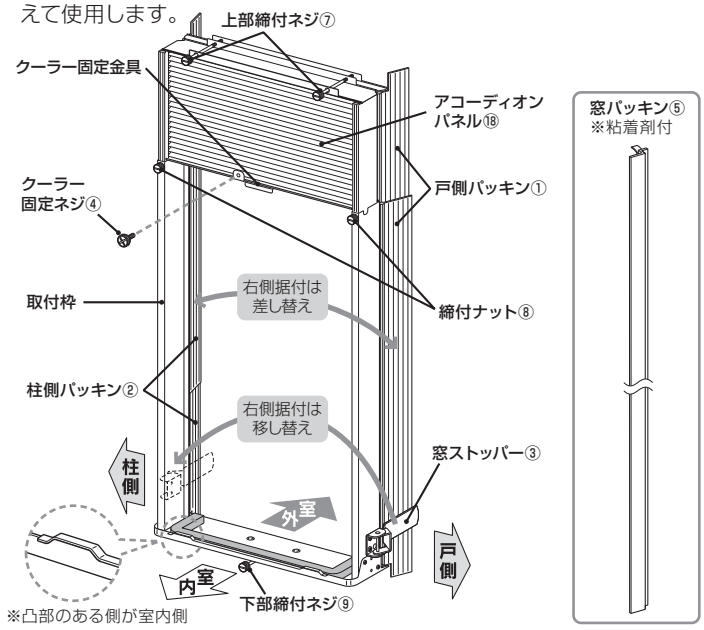
### ⚠注意

**可燃性ガスのもれるおそれのある場所へは設置しない**
万一ガスがもれてエアコンの周囲にたまると、発火の原因になることがあります。

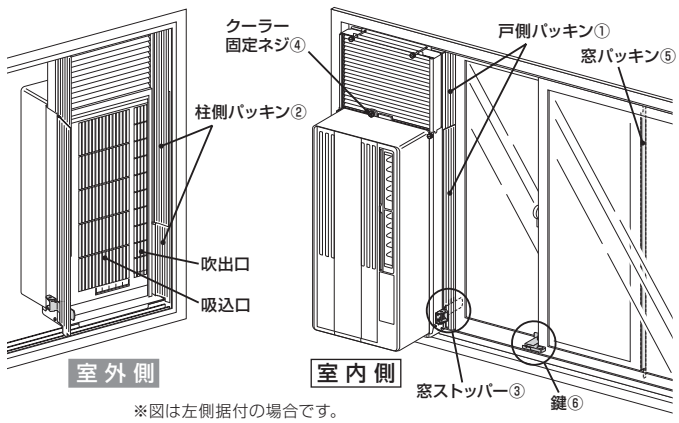
**取付枠のパッキンやシールは確実におこなう**
不確実な場合は屋内に浸水し、家財などを濡らす原因になることがあります。

## 部品一覧

■図は窓の左側据え付けとして説明しています。右側据え付けの場合は、戸側パッキン①と柱側パッキン②を差し替え、窓ストッパー③を移し替えて使用します。



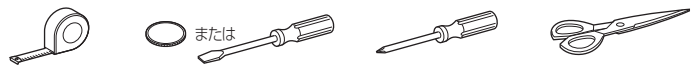

## 完成図



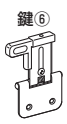

※図は左側据付の場合です。

## 用意する主な工具

■巻尺（約2m）　■コインまたはマイナスドライバー（幅広）　■プラスドライバー　■はさみ（カッター）




**補助鍵セット**

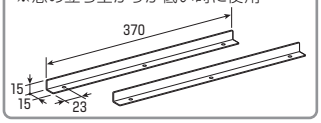


鍵⑥

皿ドリルネジ⑩（φ3.5×10）2本
※アルミ製窓に使用

皿木ネジ⑪（φ3.5×16）2本
※木製窓に使用

**補助金具⑭** 2本
※窓の立ち上がりが低い時に使用




**補助金具用ネジセット**
※窓の立ち上がりが低い時に使用

ドリルネジ⑮（φ3.5×13）4本
※アルミ製窓枠に使用

丸木ネジ⑯（φ4.1×20）4本
※木製窓枠に使用

**小窓シール⑰**
※高さが低い窓の時に使用
※粘着剤付

**粘着テープ⑫** 2枚
※雨水が侵入しないように使用

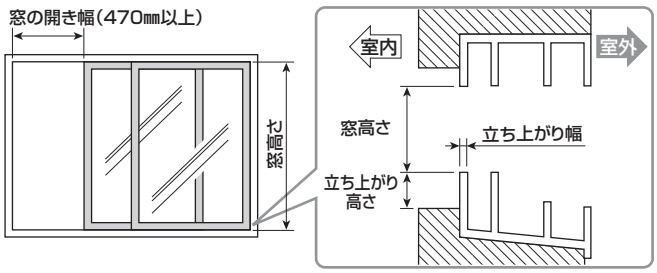
クーラー固定ネジ④ 1個

**パテ⑬**
※雨水が侵入しやすい所に使用

# 据付前の確認

## 据え付けられる窓の確認

■窓への据え付けが可能かを判断するには、窓の種類と右図の窓の開き幅、窓高さ、立ち上がり高さと幅を確認してください。
■窓の種類がアルミ製の場合は立ち上がり高さと幅によっては補助金具⑭の取り付けが必要となります。
■窓の開き幅は470㎜以上（取付枠の幅と窓ストッパー③の可動範囲を考慮した幅）必要となります。
■窓高さが1400～1900㎜の場合は、標準取付枠（付属）に「テラス窓用取付枠」（別売）を取り付けることで据え付けできます。
■補助金具⑭を取り付ける場合は取り付け幅15㎜以上必要となります。
■ネジによる据え付けによって、窓の立ち上がりに取り付けあとが残ることがあります。

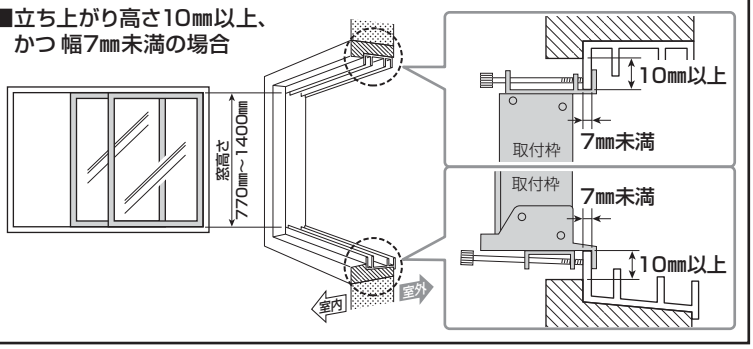



## 据え付け可能な窓の条件

**補助金具なしで据え付けできます**

アルミ製

■立ち上がり高さ10㎜以上、かつ 幅7㎜未満の場合

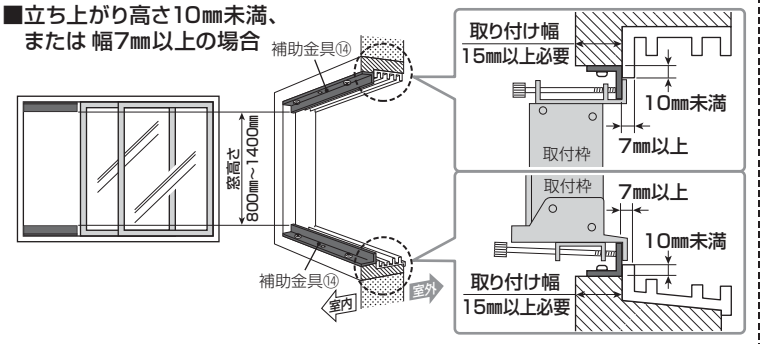



■立ち上がりより室内側に障害物がある場合は、据え付けできません。
■排水機構のない窓のレール部に据え付けた場合、ドレン水がレール部に溜まり、水もれして家財などをぬらすおそれがあります。
■スチール製の窓の場合、補助金具⑭の取り付けには下穴加工（φ3.3～3.5）と市販のタッピンネジ（φ4×8）４本が必要となります。
■窓枠がコンクリートの場合、補助金具⑭の取り付けには下穴加工（φ3.3～3.5）と市販のコンクリートビス（φ4×20）４本が必要となります。
■取付枠を使用し確実に据え付けをおこなってください。据え付けが不完全な場合は室内に水もれし、家財などをぬらす原因となります。

**補助金具の取り付けが必要です**

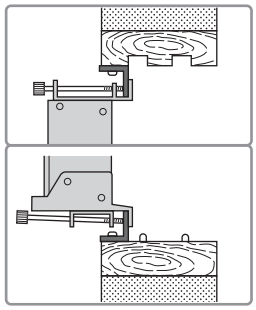
アルミ製

■立ち上がり高さ10㎜未満、または 幅7㎜以上の場合



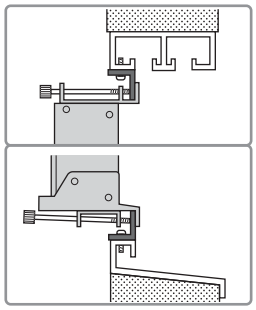

木製

■窓高さ800～1400㎜の場合



スチール製

■窓高さ800～1400㎜の場合



## 据え付け場所を選ぶ

（取扱説明書の内容にくわえ、以下の内容を確認してください。）

■冷風吹出口前方に障害物がなく、部屋全体に冷風がゆきわたる場所。
■窓枠が強固で振動の伝わりにくい場所。
■雨といの直下は避け、吹き降りなどにより窓から雨水が侵入しない場所。
■室外側の風通しがよく、背面から出る温風がこもらない場所。
■背面からの温風が隣家の窓に吹きつけたりせず、また騒音の伝わりにくい場所。

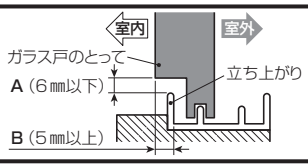
電気工事　水気のある場所あるいは湿気の多い場所で使用される場合は、感電事故を防ぐため、アース工事や漏電しゃ断器の取り付けが必要です。お買いあげの販売店または電気工事店にご依頼ください。

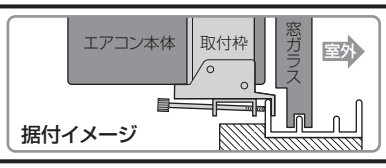
**⚠注意**

■**屋内の壁コンセントで２口以上になっていても単独で使用し、100V15A以上のコンセントか確認してください。屋内配線（壁の中の配線）の電気容量が許容量を超え、火災や感電や電源プラグの発熱の原因になります。**
■**電源プラグの改造や延長コードの使用、タコ足配線はしないでください。**

**⚠注意**

■**窓の右側、左側どちらにも据え付けができます。ただし、アルミ製窓の右側据付のとき、ガラス戸のとって部が立ち上がりより５㎜以上（B寸法）とび出している場合やA寸法が６㎜以下の場合は、窓の戸締りができないことがあります。**




# 据付手順の確認

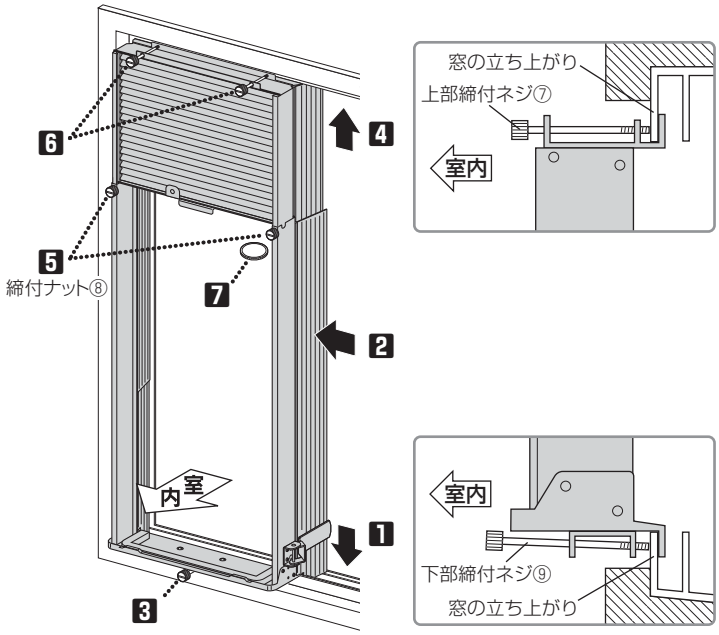
| 窓の種類 | 窓高さ | 据付手順 参照ページ 5、6 | 据付手順 参照ページ 3、4 | 据付手順 参照ページ 8 | 補助金具 |
|---|---|---|---|---|---|
| アルミ製窓（立ち上がり高さ 10㎜以上、かつ 幅７㎜未満の場合） | 770 ～ 845㎜ | Ⓑ → | 据付手順 → | 工事の仕上げ | 不要 |
| | 845～1400㎜ | → | 据付手順 → | 工事の仕上げ | |
| アルミ製窓（立ち上がり高さ 10㎜未満、または 幅７㎜以上の場合）木製窓、スチール製窓 | 800 ～ 875㎜ | Ⓐ ① → Ⓑ → | 据付手順 → | 工事の仕上げ | 必要 |
| | 875～1400㎜ | Ⓐ → | 据付手順 → | 工事の仕上げ | |

# 据付手順

右側据え付けの場合は、P7の 右側据付 へ

## ① 取付枠を据え付ける

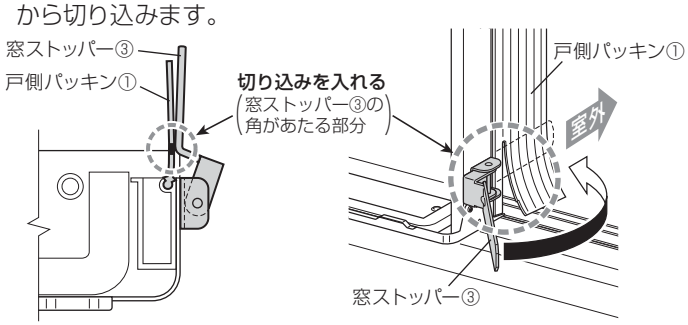
1. 取付枠下部の溝を窓の立ち上がり（または補助金具⑭）に差し込みます。
2. 取付枠を柱側に寄せます。
3. 下部締付ネジ⑨を締めて固定します。
4. 取付枠上部を引き上げ窓の立ち上がり（または補助金具⑭）に差し込みます。
5. 締付ナット⑧を締めて固定します。
6. 上部締付ネジ⑦を締めて固定します。
7. 3 5 6 のネジ・ナット（5ヵ所）をコインやマイナスドライバーで増し締めをします。



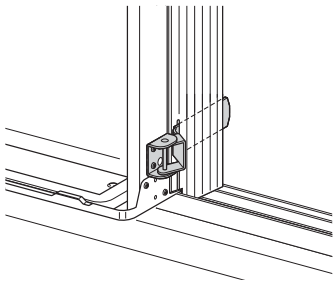

| ⚠注意 | ■ネジ・ナットは、必ずコインやマイナスドライバーを使用して増し締めをしてください。<br>■ネジによる据え付けによって、窓の立ち上がりに取り付けあとが残ることがあります。 |
|---|---|

## ② 戸側パッキンに切り込みを入れる

1. 窓ストッパー③を回して室外側に出し、戸側パッキン①に切り込みを入れる位置を決めます。はさみ（またはカッター）で下から切り込みます。

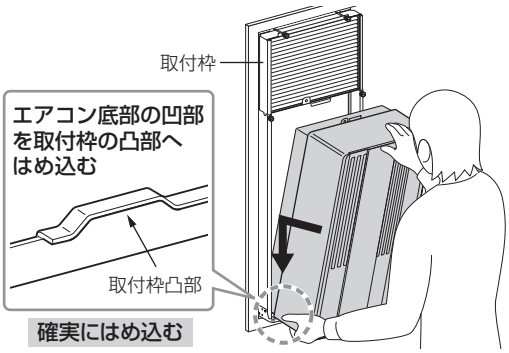



2. 窓ストッパー③を回して室外側に出し、戸側パッキン①の切り込んだ部分を窓ストッパー③の外側にかぶせます。

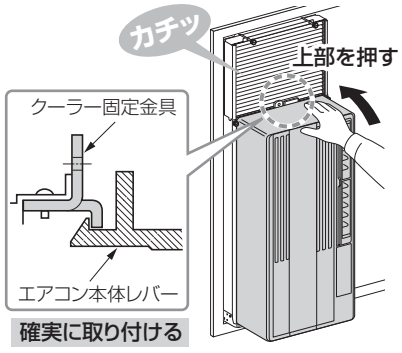


## ③ エアコンを取り付ける

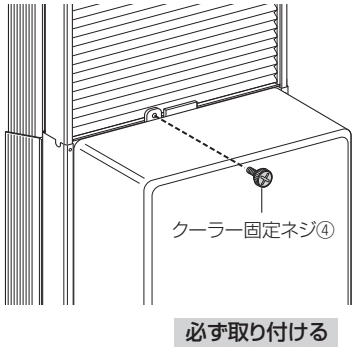
1. 取付枠下部にエアコンをのせ、エアコン底部が取付枠に突き当たるまで入れます。
   取付枠下部の凸部２ヵ所にエアコン底部の凹部２ヵ所が入っていることを確認してください。



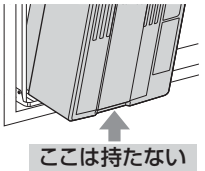

2. エアコンの上部をカチッと音がするまで押して、仮固定します。




3. クーラー固定ネジ④で取付枠にエアコンを固定し、プラスドライバーで増し締めします。




| ⚠注意 | ■手をはさまないように注意してください。<br>■オープンパネル下部の引掛け部は持たないでください。オープンパネルがはずれ、エアコンが落下することがあります。 |
|---|---|




| ⚠注意 | ■エアコン本体レバーがクーラー固定金具に確実に掛かっているか確かめてください。<br>■エアコン本体レバーを下に押すとエアコンがはずれます。 |
|---|---|

P.4の 据付手順（つづき） へ

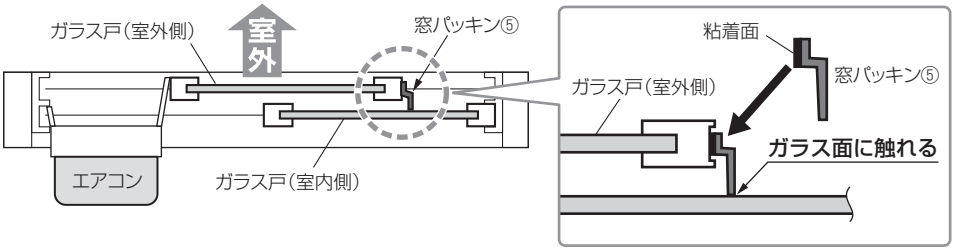
# 据付手順（つづき）

## ④ 窓パッキンをつける

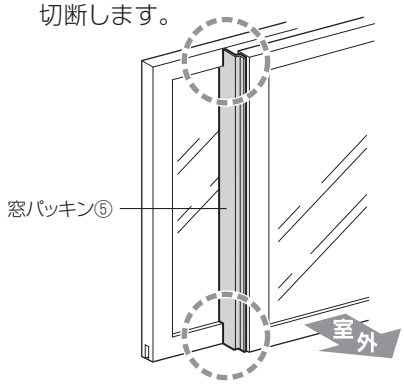
※窓のすき間から外気や虫などが侵入するのを防止します。

**1** 室外側のガラス戸に窓パッキン⑤を図のように貼り付けます。

| ⚠注意 | ■貼付部分のほこりなどをよく拭き取ってから貼り付けてください。<br>■貼付部分を強く押して確実に貼り付けてください。 |
|---|---|




**2** ガラス戸の形状、長さに合わせて切断します。



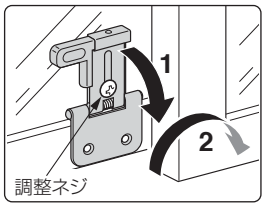

## ⑤ 鍵を付ける

エアコン使用中の戸締りのため、鍵⑥を取り付けることをおすすめします。

**1** 窓ストッパー③をセットします。

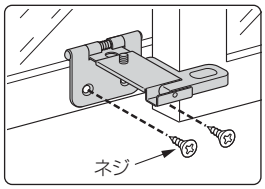
| ⚠注意 | ■窓の種類によっては、ガラス戸と窓ストッパーのあたる部分が10㎜以下の場合、窓を強く閉めると取付枠が変形し窓ストッパーが効かない場合がありますのでご注意ください。 |
|---|---|

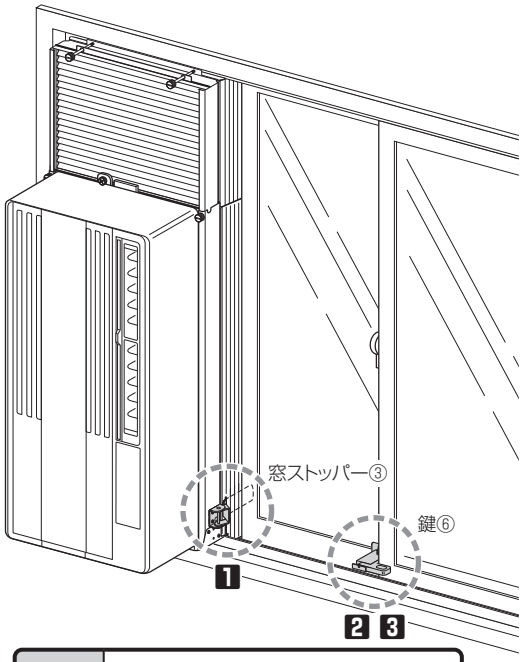
**2** 鍵⑥の調整ネジをゆるめ、戸の厚さに合わせます。




**3** 鍵⑥をネジで取り付けます。

**[アルミ製窓の場合]**…皿ドリルネジ⑩（φ3.5×10）2本
**[木製窓の場合]**……皿木ネジ⑪（φ3.5×16）2本




| ⚠注意 | ■防犯上、付属の鍵では戸締りが十分ではありません。お出かけのときなどは、必ず窓ストッパーを回して室内側に入れ、窓を閉めて窓の鍵をかけてください。<br>■ペアガラスなど窓の構造によってはガラスが破損するおそれがありますのでご注意ください。 |
|---|---|

| お願い | 窓の構造によって鍵が取り付けられない場合や、戸締りが不十分な場合には、市販の窓用鍵を利用して戸締りをしてください。 |
|---|---|

## ⑥ 仕上げをする

P.8の 工事の仕上げ へ

# 据付後の確認

**■以上で据え付けは完了となります。以下の項目を再度確認してください。**

- □ 各部品は所定のところに正しく取り付けられていますか。また、取付枠にガタツキはありませんか。各部のネジが確実に締まっているか確認してください。
- □ エアコンは、取付枠に確実に取り付けられていますか。また、エアコン固定用のクーラー固定ネジ④は確実に締まっていますか。
- □ 戸側パッキン①がエアコンの室外側の吹出口をふさいでいませんか。戸側パッキン①は必ず窓に合わせて切断してください。
- □ 雨もりの原因となるすき間はありませんか。すき間がある場合は、パテ⑬をすり込み、雨水が浸入しないように防水してください。
- □ 運転する際には、窓・あみ戸を必ず開けてください。
- □ 台風や暴風雨のとき、また外出するときなどはエアコンを停止し、窓を閉めてください。

**■お使いになる前に取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。**

### ドレン水の排水

■ドレン水の排水処理工事不要
ドレン水はエアコンの内部で蒸発させるため、ドレンホースを用いた排水処理工事は不要です。
※エアコン底部のゴム栓は、はずしたまま運転しないでください。はずしたまま運転すると、家財などをぬらすおそれがあります。

■移設時・シーズン後のドレン排水について
移設時やシーズン後はエアコン内部にたまったドレン水を排水してください。

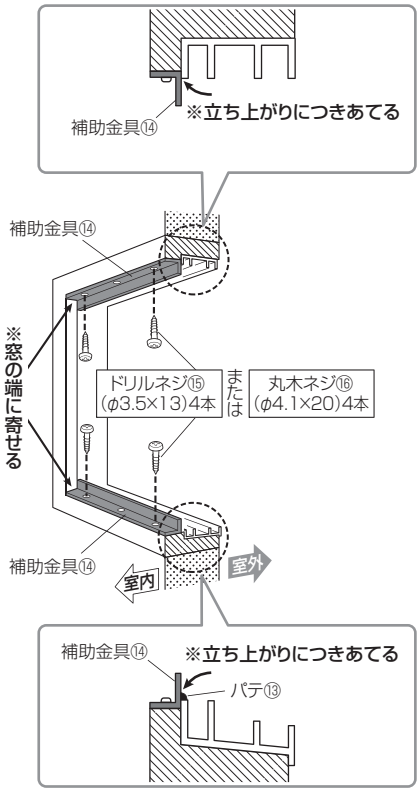
■排水手順については取扱説明書をご参照ください。

**据え付け、および取付枠についてのご相談は、お買いあげの販売店にご依頼ください。**

# Ⓐ 据付窓の立ち上がりにネジ止めできない場合

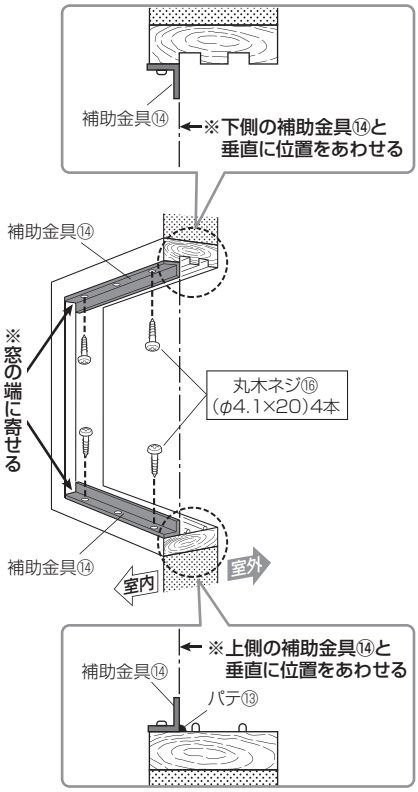
## ① 補助金具を取り付ける

【アルミ製窓の場合】



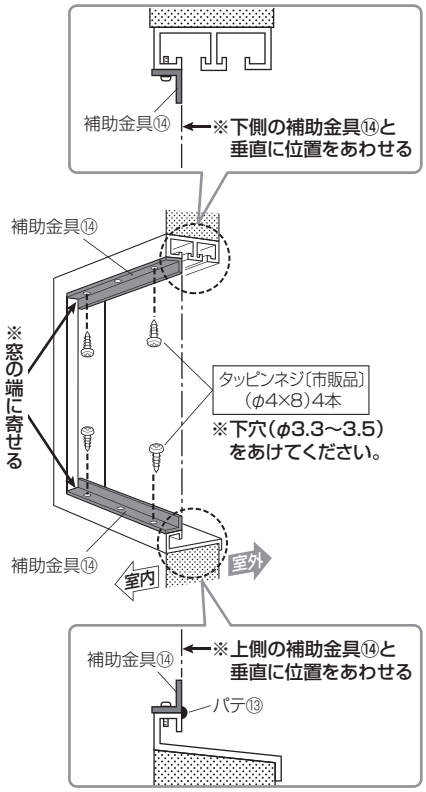

■窓枠がコンクリートの場合、補助金具⑭の取り付けには下穴加工(φ3.3〜3.5)と市販のコンクリートビス(φ4×20) 4本が必要となります。
■窓の下側に取り付けた補助金具⑭と窓枠の間はパテ⑬をすり込み、雨水が浸入しないように防水してください。

【木製窓の場合】




■補助金具⑭は窓の開閉ができる位置に取り付けてください。
■窓の下側に取り付けた補助金具⑭と窓枠の間はパテ⑬をすり込み、雨水が浸入しないように防水してください。

【スチール製窓の場合】

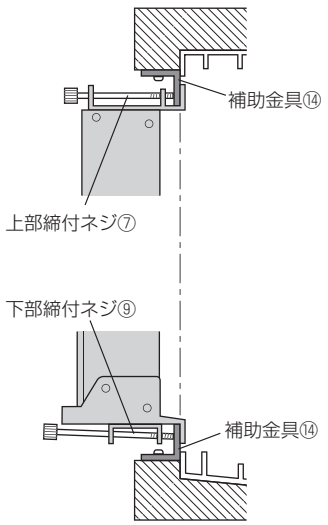



■右側据え付けで戸締りできない場合は、左側据え付けにしてください。
■窓の下側に取り付けた補助金具⑭と窓枠の間はパテ⑬をすり込み、雨水が浸入しないように防水してください。

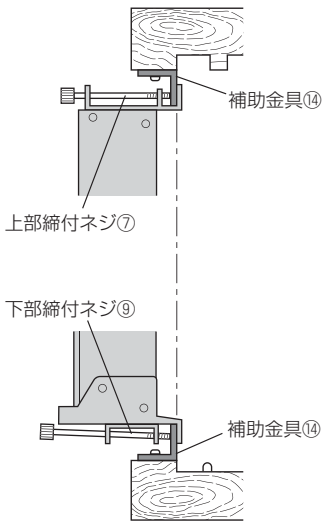
## ② 取付枠を補助金具に差し込む

■取付枠下部と取付枠上部を補助金具⑭に差し込みます。

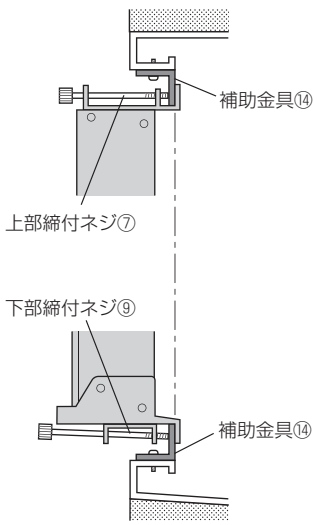
【アルミ製窓の場合】




【木製窓の場合】




【スチール製窓の場合】




## ③ 取付枠を据え付ける

据え付け方は P.3の 据付手順 へ

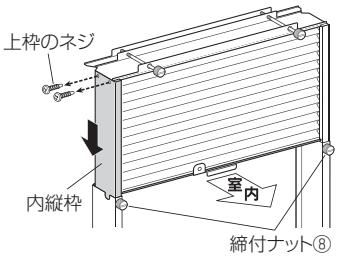
# Ⓑ 据付窓の窓高さが低い場合

図はアルミ製窓を基本に説明しています。

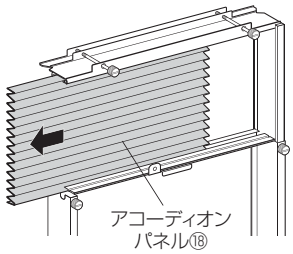
## ① アコーディオンパネルをはずす

**1** 窓ストッパー③が付いていない側の上枠のネジ2本をはずし、内縦枠を下へスライドさせます。

※取りはずしたネジは後で必要ですので、なくさないでください。
※締付ナット⑧ははずさないでください。内部の部品がはずれるおそれがあります。



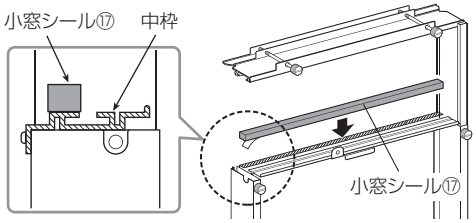

**2** アコーディオンパネル⑱を横へスライドさせ、はずします。



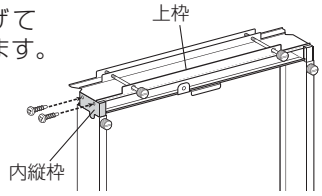

## ② 窓高さに合わせて作業する

### 【窓高さ770～773㎜（アルミ製）の場合】

**1** 小窓シール⑰を中枠へ貼り付けます。

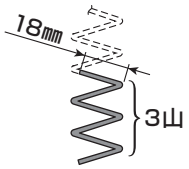



**2** 内縦枠を引き上げて上枠にネジ止めします。

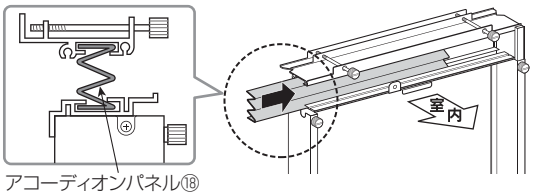



### 【窓高さ774～800㎜（アルミ製）の場合】

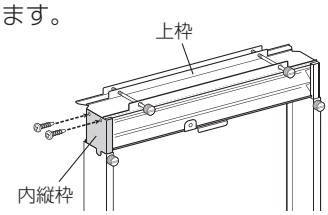
**1** アコーディオンパネル⑱の下側3山分を切断します。




**2** 切断したアコーディオンパネル⑱（3山）をもとどおり組み立てます。

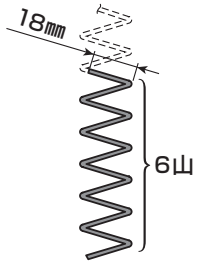



**3** 内縦枠を引き上げて上枠にネジ止めします。

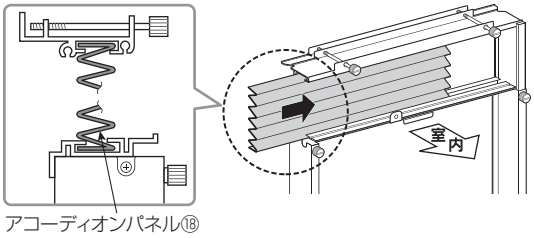



### 【窓高さ801～845㎜（アルミ製）の場合】

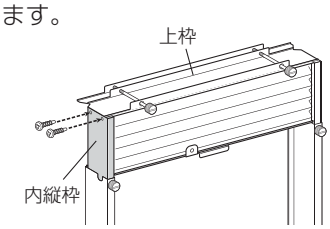
**1** アコーディオンパネル⑱の下側6山分を切断します。




**2** 切断したアコーディオンパネル⑱（6山）をもとどおり組み立てます。




**3** 内縦枠を引き上げて上枠にネジ止めします。

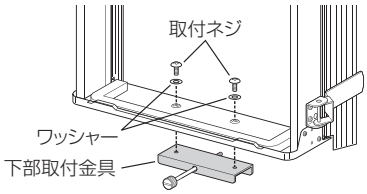



## ③ 取付枠を据え付ける

据え付け方は P.3の 据付手順 へ

### 【窓高さ770～800㎜で 窓に下部取付金具があたり差し込みできない場合】

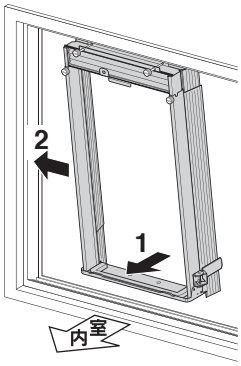
**1** 取付ネジ2本をはずし、下部取付金具をはずします。



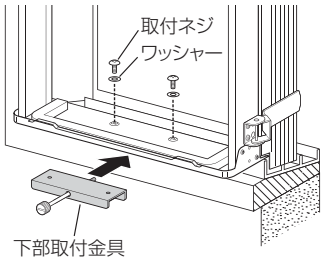

※下部取付金具と取付ネジ、ワッシャー（透明）は後で必要です。なくさないでください。

**2** 取付枠を差し込み、柱側に寄せます。

取付枠上部を立ち上がりに差し込み、取付枠下部を室外側から室内側へ**1**の矢印方向に引き入れて、下側の立ち上がりにのせ、**2**の矢印方向に寄せます。



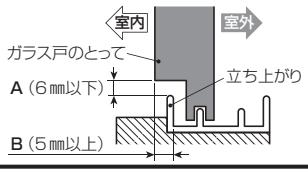

**3** 下部取付金具を止めます。

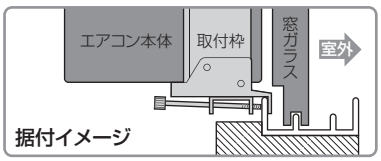


# 右側据付

⚠注意

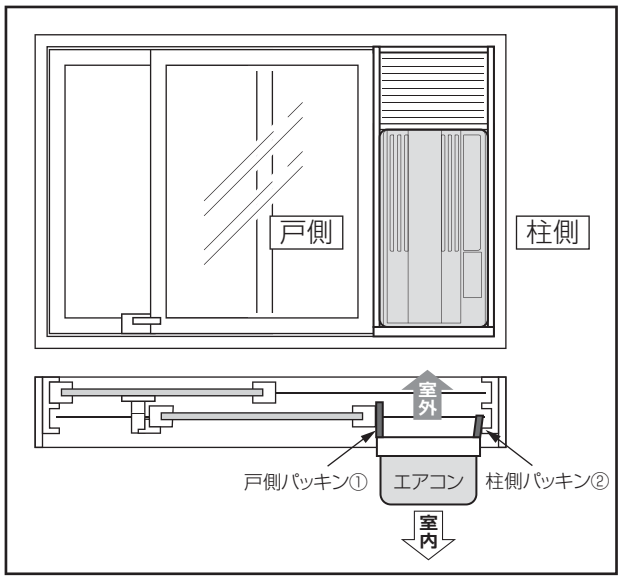
■窓の右側、左側どちらにも据え付けができます。ただし、アルミ製窓の右側据付のとき、ガラス戸のとって部が立ち上がりより5㎜以上（B寸法）とび出している場合やA寸法が6㎜以下の場合は、窓の戸締りができないことがあります。

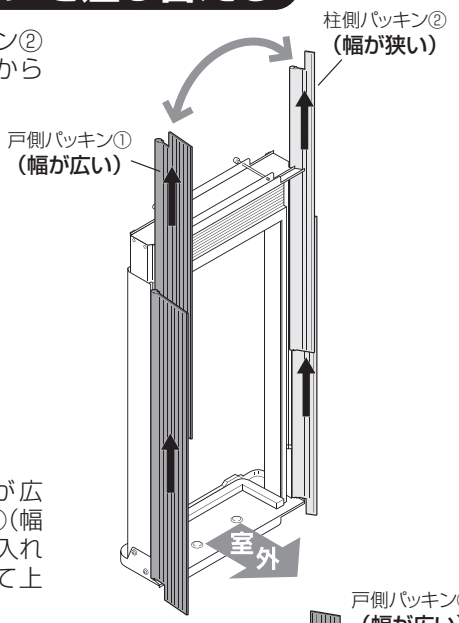



## ① 戸側・柱側パッキンを差し替える

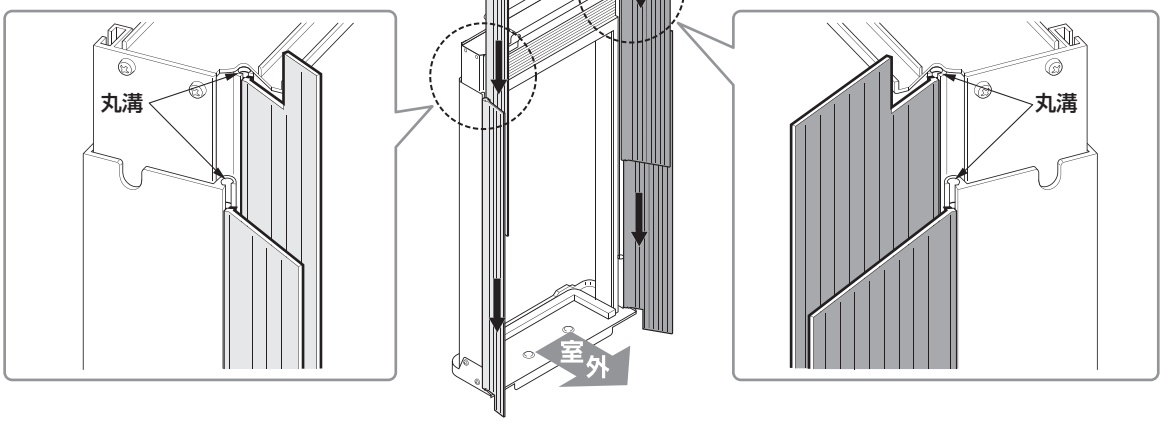
**1** 戸側パッキン①、柱側パッキン②を取付枠の丸溝に沿って上から抜きます。




**2** 戸側に戸側パッキン①（幅が広い）、柱側に柱側パッキン②（幅が狭い）となるように左右を入れかえ、取付枠の丸溝に沿って上から差し込んでください。

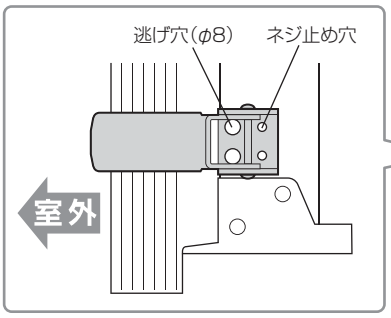
※上下に切り欠きがくるよう差し込み方向に注意してください。

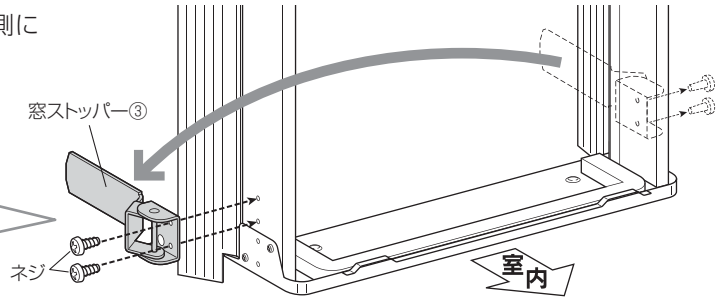



## ② 窓ストッパーを移し替える

■右側に付いている窓ストッパー③のネジ2本をはずし、枠の左側に取り付けます。

※逃げ穴（φ8）が室外側にくるように取り付けてください。




## ③ 取付枠を据え付ける

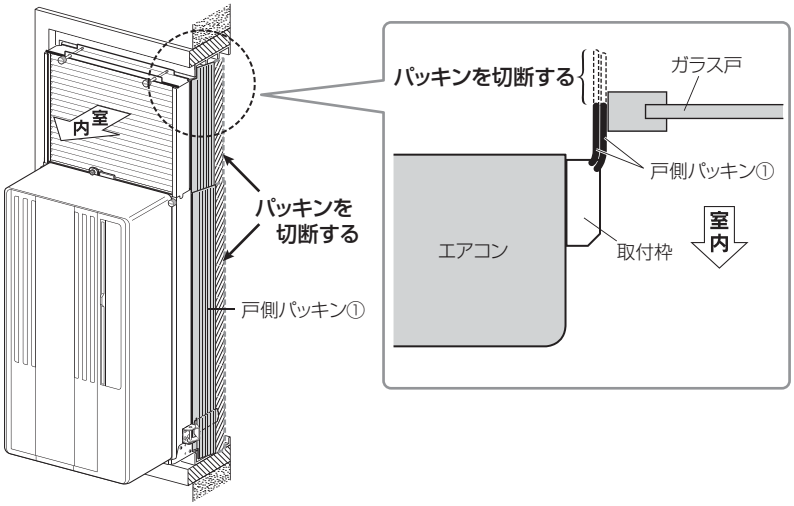
据え付け方は P.3の 据付手順 へ

# 工事の仕上げ

戸側・柱側パッキンの曲がりぐせは、お湯につけることなどによりなおすことができます。

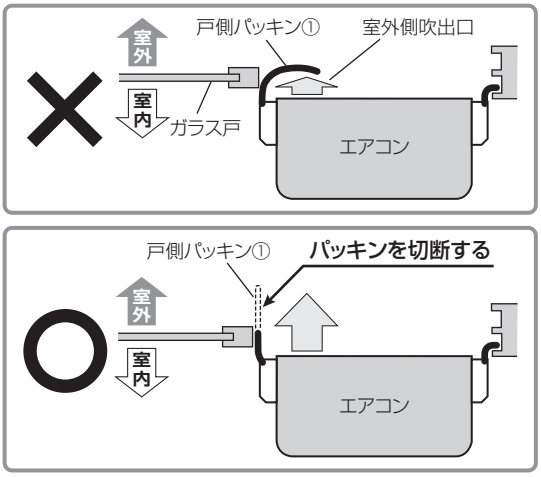
## ① 戸側パッキンを切断する

■ガラス戸よりはみ出した戸側パッキン①を溝に沿って切断します。



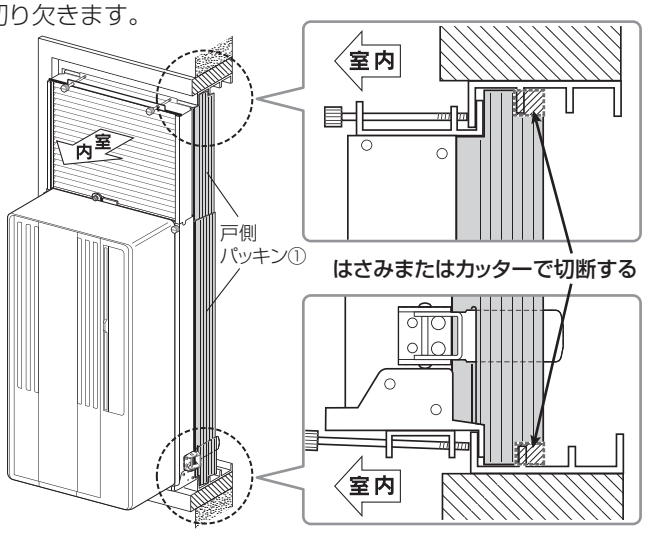

【右側据え付けの場合】

エアコンの吹出口をふさぐおそれがありますので、必ず切断してください。




## ② 戸側パッキンを切り欠く

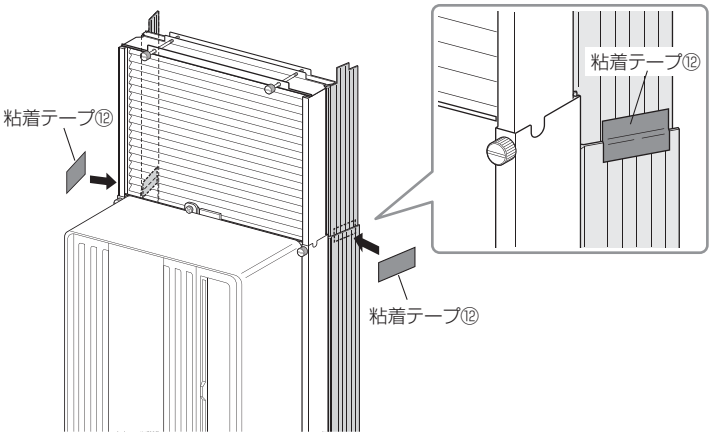
■戸側パッキン①を窓の形状に合わせて、はさみ(カッター)で切り欠きます。




## ③ 粘着テープを貼る

■粘着テープ⑫をパッキンの合わせ部に外側から貼ります。

※雨水の浸入を防止します。

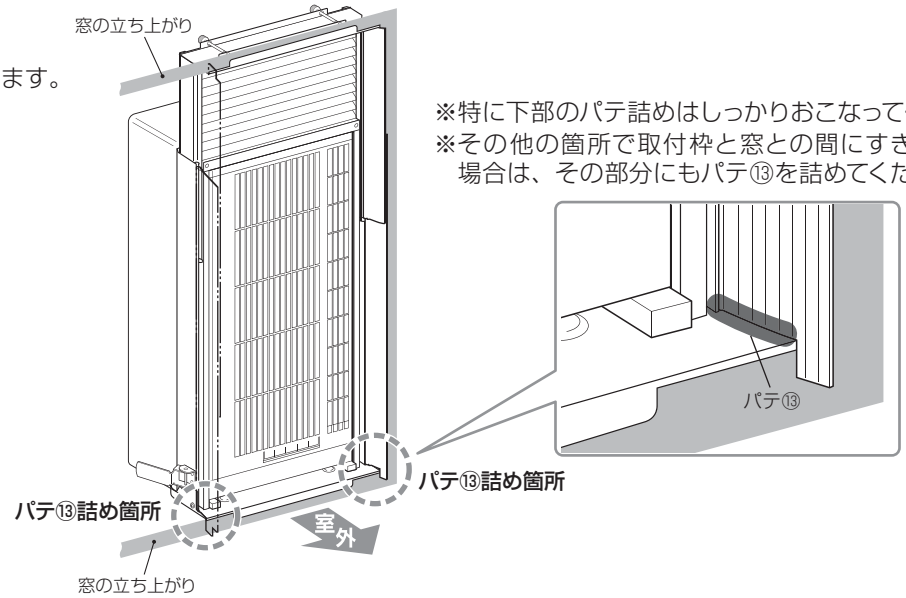



※戸側・柱側の両方に粘着テープ⑫を同様に貼ってください。

## ④ パテを詰める

■窓と取付枠のすき間にパテ⑬を詰めます。

※雨水の侵入を防止します。




※特に下部のパテ詰めはしっかりおこなってください。

※その他の箇所で取付枠と窓との間にすき間がある場合は、その部分にもパテ⑬を詰めてください。

## ⑤ 据え付け後の確認をする

P.4の 据付後の確認 へ